授業科目	刑事司法と福祉					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	前期
担当教員	木村　茂喜						
授業概要	犯罪をした者や非行少年が再び立ち直るには、厳しい道のりが待っている。彼ら彼女らが、社会の一員として受け入れられるためには、本人の努力のみならず、彼ら彼女らが社会で自立して生活するための支援システムが不可欠であり、この支援システムにおける福祉専門職の果たす役割は近年において重要度が大きく増している。加えて、近年では、犯罪をした高齢者・障害のある者を福祉的支援へとつなぐ体制が少しずつ整備されてきている。 本講では、社会で起こっている犯罪の現状や刑事司法・少年司法の諸手続きについて学習したうえで、更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立して生活するための支援制度について学習する。						
授業形態	講義			授業方法	学生の講義内容の理解度を確認するため、講義中および講義終了時に Google Form を使った確認テストを実施する。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	・犯罪をした者・非行少年もいずれは社会復帰し、再び社会の一員となる、ということを正しく認識できる。(DP1-2,2-1) ・刑事司法・少年司法の概要についてある程度説明できる。(DP1-2) ・更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立生活するための支援制度の概要についてある程度説明できる。(DP1-2,2-1) ・刑事司法と福祉との連携の現状について認識できる。(DP3-2)
理想的レベル	・犯罪をした者・非行少年もいずれは社会復帰し、再び社会の一員となる、ということを正しく認識できる。(DP1-2,2-1) ・刑事司法・少年司法の概要について正しく説明できる。(DP1-2) ・更生保護制度・医療観察制度など、犯罪をした者や非行少年が社会復帰し、社会の中で自立生活するための支援制度の概要について正確に説明できる。(DP1-2,2-1) ・刑事司法と福祉との連携の現状について認識し、考察できる。(DP3-2)

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	30%	
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	20%	各講義終了後、学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21222J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）

予習：テキスト該当部分に目を通す 復習：テキスト該当部分・レジュメの見直し	4

授業計画	
第 1 回	テーマ：イントロダクション 講義の進め方、刑事司法と福祉との関係を学ぶ意義について説明する。
第 2 回	テーマ：社会と犯罪 日本における犯罪の特徴と現状について解説する。
第 3 回	テーマ：犯罪原因論と対策 犯罪原因論の内容と意義、犯罪原因論に基づく犯罪への対応について解説する。
第 4 回	テーマ：刑罰とは何か 刑罰制度の歴史、刑罰の種類と適応状況について解説する。
第 5 回	テーマ：刑事司法 逮捕から刑の執行に至るまでの刑事司法手続の概要について解説する。
第 6 回	テーマ：少年司法 対象となる少年の発見から終局決定に至るまでの少年保護手続の概要について解説する。
第 7 回	テーマ：施設内処遇(1)成人 刑務所をはじめとする刑事施設における処遇の在り方、刑事施設における福祉専門職の業務内容について解説する。
第 8 回	テーマ：施設内処遇(2)少年 少年院および少年鑑別所の組織体制と処遇、少年院における矯正教育と社会復帰支援の実際について解説する。
第 9 回	テーマ：社会内処遇(1)更生保護の理念と概要 更生保護の意義、更生保護制度の概要、更生保護におけるソーシャルワーカーの役割について解説する。
第 10 回	テーマ：社会内処遇(2)更生保護の実際 保護観察、仮釈放を中心とした更生保護の実際、関係機関のネットワークについて解説する。
第 11 回	テーマ：医療観察制度 医療観察制度の概要・手続、社会復帰調整官の役割にについて解説する。
第 12 回	テーマ：高齢者・障害者による犯罪・非行と福祉 司法と福祉との連携の展開、地域生活定着支援センターの役割、犯罪・非行に至った高齢者・障害者に対する支援の実際について解説する。
第 13 回	テーマ：アディクションを抱える人と刑事司法 アディクション（依存症）を抱える人に対する刑事司法の対応やソーシャルワークについて解説する。
第 14 回	テーマ：犯罪被害者等支援 犯罪被害者等支援に関する制度の概要、支援の実際について解説する。
第 15 回	テーマ：コミュニティと刑事司法 刑事司法への市民参加、市民と犯罪との向き合い方について解説する。
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 １０ 刑事司法と福祉』（中央法規出版） そのほか、毎回の講義開始前にレジュメを配布する。

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 2024[令和 6 年版]』（ミネルヴァ書房） そのほか、適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。 コメントカードに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。 定期試験終了後、解答例を Classroom に掲示する。
学生へのメッセージ・コメント	法学（1 年前期）を履修していることが望ましい（履修していなくても受講は可能）。 講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。また、講義後には各自でその日の講義内容について復習をしておくこと。